

議 事 録

公開・ 一部公開 ・非公開	非公開 部 分 理 由				個人情報にかかる部分
				保存期間	30 () ・ 10 ・ 5 ・ 3 ・ 1 ・ 随
				作成日	令和4年9月21日
部長	課長	課長補佐	係長	係	記録者所属 企画振興課企画政策係
					職・氏名 主査 上条 由実 印

会議等の名称	令和4年度 第6回市民まちづくり会議	開催日時	令和 4 年 9 月 20 日 (火) 午前 午後 6 時 30 分～ 午前 午後 8 時 00 分
		場 所	本館2階全員協議会室
主催者(事務局)	企画振興課	司会者	
出席者	有賀剛、五十嵐豊峰、大谷真宙、小夫真、坂口永一、田中隆、篠原博文 柘植香織、中澤玄三、花岡裕子、村山弘子、鈴木絵美、水間源 大塚企画政策係長、上条 (傍聴人あり)		
欠席者	倉嶋智彦、荻原猛、島田直政、竹内直弘、柳橋悠香		

議 題	(事務局) 連絡事項 (グループワーク) まちづくり班、シティプロモーション班に分かれそれぞれグループワークを実施	(配布資料) 別紙会議資料のとおり
決定事項 (要点を簡条書き)		
次回への検討事項		
次回開催	(日時) 令和4年10月18日 18時30分から	(場所) 本館2階全員協議会室
討議内容及び経過	(発言者名)	(発言内容)
各グループワークの内容は別添のとおり		

市民まちづくり会議（まちづくり班） 議事録 R4.9.20

（1）ひだまりの家プロジェクト第一弾企画概要について説明

WHERE

- ・滋野コミュニティーセンターのマイクは有線なので、市のワイヤレスマイク 1 台を借りる。

WHO

- ・主催は市民まちづくり会議。市は後援とする。
- ・滋野の地域づくり協議会の育成部会の方が手伝いをしてくれるかもしれない。育成部会の方も、コロナ禍で活動が出来ていない。お金も 5~6 万円ある。
午前中からはじめて、ご飯（お弁当）を配布したいと言っている。

←コロナ禍なので、ご飯を出すのが必須だと困る。

←一緒にやるのはいいが、リードはこちらがとりたい。滋野の地域づくり協議会の活動の経過から滋野小の児童を対象に実施している「お泊り会」のようなものを想像されてしまうと困る。

←地域づくり協議会の事務局の方から、育成部会の担当の方へ話をさせていただくことになっているので、その様子でまた検討する。

WHOM

- ・講演を通して、親を呼んで、そこに不登校やひきこもりの子どもも来てくれるとよい。
- ・来てくれる子どもたちも楽しんでほしい。

WHAT

- ・講演のテーマについては、「子どもの現状と未来を考えよう~親子関係を中心に~」

HOW

- ・宣伝について

市報とうみ 11 月号のホワイトボード欄へ案内を掲載

親子だけでなく、親だけでも、そうではない興味のある方も参加できるように文面を変更

電話で申し込みを受け付けることになったので、受付の際の「受付簿」を作成すること。

ビラを作成・配布⇒ビラ作成・校正は委員が行う。

配布場所は、小中学校の全員、公民館、市役所入り口、児童館、子育て支援センター、子どもサポートセンター、社協、湯楽里館

湯楽里館については委員から依頼する。

FM とうみへの出演…委員の方で出演できるよう FM とうみへ聞いてみる。

HOWMUCH

- ・イベント保険の費用については、1 日 1,000 円とのこと。（当日委員で確認）

市民まちづくり会議（シティプロモーション班） 議事録 R4.9.20

10月8日に開催を計画していたeバイク（サイクリング）イベントが、昨今の社会情勢の影響によりeバイク納品が遅れることとなり、延期または中止せざるを得なくなった。納品が確実にされているであろう時期を見通しての延期となると、気候も寒くなり開催時間やコースも見直していく必要がある。

本日は、大きく内容変更をしていく必要が生じた中で、準備を進めてきた内容を踏襲しつつも、新たな計画の作成に向けた話し合いをしていく。

既に導入されているeバイク2台を活用し、田中商店街のイベント等で人が大勢集まるときにeバイクの試乗会を兼ねてPRしたらどうか。直近では、10月29日にハロウィンイベントが実施されるので、そこでどうか。

駅前観光ステーションをスタート・ゴールとして、eバイクの乗り方やハロウィンイベントの見どころを紹介しつつ、PRすることとし、信州とうみ観光協会と東御市商工会へ打ち合わせにいくこととする。実施が可能であれば、次回の会議（10月18日）では打合せが間に合わないと思われるので情報は常に共有し、臨時で会議を開催したい。

延期とするサイクリングイベントは、自転車の納品が確実と思われる11月23日で開催したい。気候を考慮し、開催時間を午前10時から午後12時30分とし、7月に試走した祢津地区のコースを中心に練り直し、参加者の駐車場を確保するには湯楽里館をスタート・ゴールとする。

観光協会と信州東御市振興公社との打合せを進め、開催要項等をまとめたうえで市の広報で募集をしていく。

参加者の層も幅広くできるようゆったりとしたイベントとなるよう、立ち寄り所を含めたコースの設定を進めて、ハロウィンイベントと並行して打合せを重ねていく。